

12月の暗唱
 〈ないようをあじわって読もう。〉

朝のリレー

谷川 俊太郎

カムチャッカの若者がきりんの夢をみているとき

メキシコの娘は朝もやの中でバスを待っている

ニューヨークの少女がほほえみながら寝返りをうつとき

ローマの少年は柱頭を染める朝日にウインクする

この地球でいつもどこかで朝がはじまっている

ぼくらは朝をリレーするのだ 経度から経度へと

そうしていわば交代で地球を守る

眠る前のひととき 耳を澄ますと

どこか遠くで 目覚まし時計のベルが鳴っている

それはあなたの送った朝を

誰かかしっかりと受け止めた証拠なのだ

谷川俊太郎さんは、二年生の国語「スイミー」をやくしたり、六年生の国語「生きる」を書いたりした人で、十一月十三日に、九十二歳でなくなりました。朝のリレーは、谷川さんの代表作です。ちよつと、難しいかもしれませんが、挑戦してみましよう。

うち ひと お家の人	たん にん せんせい 担任の先生	しょくいんしつ せんせい 職員室の先生